

「ゆったりして気持ちいい」

キャスパーチェアに座って頂いた皆様の多くの感想は、「小ぶりないすなのにゆったり座れる」というものでした。

長く座ってみると、頭部から首筋にかけて軸のようなものを感じるようになります。これは、筋力によって支えているのではなく、骨格を無理無く整え安定させることで生まれる感覚。その結果、不要な力が抜けてリラック感を覚えます。

「もたれる」から「のせる」

キャスパーチェアは、重度肢体不自由児・着用者のオーダーメイド車いすなどの製作者である村上潤氏が考案した『キャスパーチェアアプローチ』という技術を起立木工が一般用の椅子に展開したものです。

従来の椅子は、背もたれに「もたれる」のですが、キャスパーチェアは胸郭（肋骨で囲まれた部分）より上部をこの背板に「のせる」ようにして安定させることができます。背板に回転軸を設け、個々の体型に馴染ませ微妙な角度を持たせることで、多くの人の胸郭を「のせる」ことが可能になりました。

このキャスパーチェアは、理屈抜きに、疲れにくく座りやすいことを目指した椅子です。この椅子が多様に展開することで、健康者だけでなく、長時間座れなかつた高齢者などの日常生活を根底からサポートしたいと願っています。

Casper

キャスパーチェア 座り心地の秘密

■倒れながら落ち込む胸郭

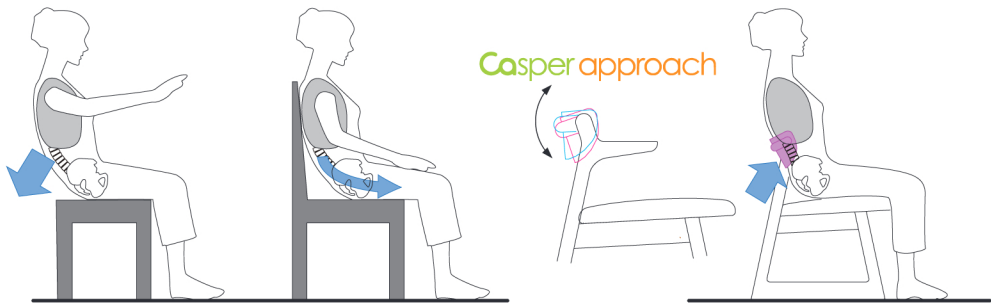
座位姿勢になると身体（胸郭）は、後方へ倒れようとしながら下方へも落ち込もうとします。

■もたれる

従来の背もたれは、倒れようとする身体を止めるだけで、下方へ落ち込む力を受けきれずに、お尻が前にずれたり、腰が落ち込んで「腰痛」の要因となっていました。

■のせる

キャスパーチェアアプローチでは、倒れるだけではなく、落ち込もうとする身体（胸郭）を乗せることにより、お尻が前ずれせず、腰も「楽」に座ることが出来るのです。



Casper

キャスパーチェア アプローチ 重要6要素

※[Casper・キャスパーチェア]とは、6要素の頭文字を並べた造語です。

Caput	ケイベット・頭／頭部の物理的な反応は羅針盤的な役割り
Axis	アクシス・軸／頭部から、頸椎、胸椎上部までに、重力方向に対して軸をつくる
Skeleton	スケルトン・骨格／できるだけ筋力を使わず骨格を自然な形のまま整え、無理無く安定させる
Proportion	プロポーション・均整／重力によって変形していく骨格の位置関係を均整をもって整えていく
Enjoy	エンジョイ・楽しむ／楽しむ為の環境作り
Relax	リラックス／重力に対して骨格の均整がとれ、頭部近くに軸が出来たときリラックスが得られる。